

## 同時同側性 3 重複乳癌の一例

井上 俊英 (伊香郡病院組合立 湖北総合病院) , 関啓太郎 (愛生会山科病院) ,  
小林義典 , 宮澤一博 (公立湖北総合病院外科) , 服部隆則 (滋賀医科大学第一病理)

〔症例〕 74歳女性。左乳房腫瘍を主訴に近医を受診し、  
当院外科に紹介される。昨年の乳癌検診では異常なしで  
あった。エコーにて A、C D、D 領域の 3ヵ所に腫瘍を認  
め、A、C D 領域の腫瘍より針生検を行い悪性の診断を  
得る。左乳房全摘、Level II 廓清手術施行。腫瘍マーカ  
ーは CEA4.0 CA15-3 17.5 と正常域であった。

〔病理所見〕 A 領域腫瘍 (12×10×10mm) は  
断面灰白色充実性で充実腺管癌、HER2 (1+) ER(+)  
PR(-) stage I、C D 領域腫瘍 (21×18×17mm) は  
断面出血性粘液調で粘液癌、HER2(-) ER(+)  
PR(-) stage I A、D 領域腫瘍 (10×9×7mm) は断面灰白色で  
乳頭腺管癌、HER2(-) ER(+)  
PR(-) stage I、  
Elston&Ellis の組織学的グレード分類ではすべて  
grade II (中分化) であった。尚 3つの腫瘍には  
連続性は認められなかった。

〔まとめ〕 同側多発性の乳癌は小葉癌以外ではあまり  
多くない。一年余りで同側同時性に組織型の異なる  
3腫瘍を形成する乳癌を経験し報告した。

連絡先：公立湖北総合病院検査科病理  
0749-82-6150